

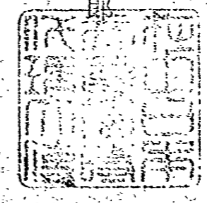
E-2145

0536

外務大臣 有田 八郎 殿

普通第二四五號  
昭和十一年十二月十日

在土臨時代理大使 宮崎 勝太郎



土耳其製鐵所建設ニ關スル英土契約成立ノ件  
土耳其政府ハ産業五ヶ年計畫ノ重要部門トシテ製鐵業確立ニ努力シ居  
ル。並本年六月二十三日「アンカラ」ニ於テ土耳其側「スーメル」  
銀行（土耳其國營工業ノ創設及經營ニ從事スルモノ）ニ詳細ハ本年  
四月十日附普通第五號往信參照）及英國側 H.A. Brassart and  
Company, Limited. (英國輸出信用保證局ノ援助ヲ受ク) 間ニ「カラブユ  
ック」 Karabük 製鐵所建設暫定契約成立シタルコトニ付テハ既報ノ  
通ナルカ右本契約ハ本月一日「アンカラ」ニ於テ土耳其經濟大臣「ヂ

在土日本大使館

エラール、バヤール」及「ブラザート」會社側代表 B. Mackenzey  
間ニ調印セラレタリ。  
同契約ノ詳細ハ未タ知ル得サルモ黑海沿岸「ソフランポリ」鐵山附  
近ノ「カラビユック」ニ約三百萬英貨磅ヲ以テ二ヶ年半以内ニ年産  
能力十八萬乃至二十一萬噸ノ製鐵所並機械工場ヲ建設スルモノニシ  
テ之ニ要スル技術及材料ハ全テ英土兩國ヨリ供給スルコトニ限定セ  
ル趣ナリ  
本契約ハ歐洲大戰後最初ノ英土經濟提携ニシテ然モ英國側カ「クル  
ツプ」ノ猛烈ナル競争ヲ排シテ利權獲得ニ成功セルモノトシテ注視  
セラレ居ル處右カ獨逸ニ取リ少ナカラサル打撃タルハ從來獨逸ノ購  
入シ居タル土耳其鑛石（特ニ「クローム」）カ土耳其國內ニ於テ消  
費セラレ、結果自然其對獨逸輸出額ハ減少スヘク右ハ又忽チ獨逸ノ對  
土輸出貿易ニ影響ヲ及スノミナラス本件建設費カ英土兩財團ノ共同  
勘定ニテ海外ニ賣却セラル、「クローム」「アンチモニー」及「モ  
リブデン」等ノ鑛石代金ニテ決済セラル、モノナルヲ以テ將來獨逸

在土日本大使館

E-2145



ハ必需品タル土耳其鑽石ノ入手ニ付種々英國側ノ策動ヲ受クル虞アル點ナリ。

本信寫送付先 英國、獨逸

在土日本大使館

E-2145

0538

次大	東亞局長	歐亞局長	亞米局長	係務局長	情報局長	文化事業部長	調查部長	人事部長	會計部長	電信部長	翻譯課長	通商局第一課長	通商局第二課長	通商局第三課長
官														
臣														

文書課長 文書課發送 昭和拾貳年貳月拾七日發送済

主 通商局長 勅任事務官 長 主 通商局總務課長

通總普通合第六二九號 昭和拾貳年貳月拾五日附 附屬

受 信 人 名 商工次官 堀 次官 橋島通商局長

資 源 局 長 官

件 名 土自古製鉄所建設ニ由ルニ其土製鉄成立ノ件

別紙 号一 通報 告了了之ニ付 即答 考迄 右 茲ニ

外 務 省

送信先 商工省 資源局

在土官崎臨時代理古便 收土二十日附

普通第二四五号 来信 修正 通知 在 係 附一ノ

外 務 省

E-2145

